

第2回第6次忠岡町総合計画審議会議事録要旨

日 時	令和2年7月29日（水）午後2時から午後4時まで
場 所	忠岡町シビックセンター本館3階 研修室1・2
出席者	（第6次忠岡町総合計画審議会委員） 増田会長、高見副会長、小島ゆかり委員、花野委員、高橋委員、 正木委員、松阪委員、萬野委員、毛綿谷委員、富田委員、和田委員、 小島みゆき委員、二家本委員、三宅委員、勝元委員、森委員
欠席者	上ノ山委員
事務局	和田町長、富本教育長、立花町長公室長、村田住民部長、東健康福祉部長、 谷野産業まちづくり部長、柏原議会事務局長、二重教育部長、森下消防長、 明松町長公室次長、小倉自治政策課長、正木自治政策課係長 （株）ぎょうせい 村上氏、永松氏
傍聴者	0名
配布資料	1. 会議次第 2. 忠岡町総合計画審議会委員名簿 3. 資料1 課題からなる分野ごとの目標設定について 4. 資料2 施策体系（案）について 5. 資料3 将来都市像（案）について 6. 資料4 施策の大綱（素案）について 7. 資料5 基本計画（骨子案） 8. 資料6 重点プロジェクトの考え方について
会議次第	1. 開会 2. 町長挨拶 3. 審議会の公開、非公開について 4. 議題 1. 施策体系、将来都市像（案）について 2. 施策の大綱（素案）について 3. 基本計画（骨子案）及び重点プロジェクトの考え方について 5. その他 6. 閉会

議事の経過	
発言者	発言内容
町長	<p>1. 開会</p> <p>2. 町長挨拶</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の最中の会議となります。ご出席いただきありがとうございます。今回は総合計画の策定にあたり、委員の皆さまに町の現状・課題についてご説明しました。今回は事務局が作成した素案に対して、様々なご意見やご提言を賜り、より良い計画をつくりたいと考えております。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>以降の進行については、増田会長よろしくお願いいたします。</p>
増田会長	<p>今回は委員の皆さまに、総合計画に関する課題等をお一人ずつお聞きしました。今回の議題は施策体系や将来都市像など、非常に重要な内容となっておりますので、忌憚のない意見をお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
増田会長	<p>3. 審議会の公開、非公開について</p> <p>それでは続きまして次第3「審議会の公開、非公開について」についてお諮りしたいと思います。</p> <p>「忠岡町審議会等の会議の公開に関する指針」におきまして審議会は原則公開となっておりますので、公開で進めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
増田会長	<p>異議なしということでございますので、審議会は公開とさせていただきますと思います。傍聴の方おられますか。</p>
事務局	<p>本日傍聴人はおりません。</p>
増田会長	<p>それではこのまま進めてまいります。</p>
増田会長	<p>4. 議題</p> <p>4-1. 施策体系、将来都市像(案)について</p> <p>まず、4-1「施策体系、将来都市像(案)について」、事務局より説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>(事務局 「施策体系、将来都市像(案)について」の説明(資料1、資料2、資料3))</p>
増田会長	<p>ご説明ありがとうございます。今、ご説明した資料について、何かご意見やご質問ございますでしょうか。1点補足で、案1～案3の大きな違い</p>

事務局	<p>をご説明いただけますか。</p> <p>案1が、総合戦略と呼ばれる人口減少対策や町の活性化を意識した案となっています。案2が、忠岡町の日本一小さいという特長を掘り下げ、生かした案となっています。案3は、現第5次総合計画の視点を踏襲した案となっています。</p>
増田会長 勝元委員	<p>補足のご説明ありがとうございます。</p> <p>質問の前に、事前配布資料と当日配布資料の修正箇所を確認させていただきたいのですが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>2ページですが、「(4) 新婚夫婦への支援」が新規施策として下線を引きました。18ページも同様です。12ページは「大阪水道公益企業団と連携を取りながら、下水道環境の改善を行い」という表記だったのですが、「大阪水道公益企業団との連携、下水道環境の整備・改善、環境衛生の推進」と修正しています。</p>
勝元委員	<p>ありがとうございます。資料に「求められる対応」として「リカレント教育の推進」と記載されていますが、以前、予算の委員会の時に、忠岡町で生涯を通じて学び直しができるということが必要じゃないかということで質問をさせていただきました。その時は、あまり効果がないと想定されるので実施しないという町側の回答を受け取っていました。こうしたリカレント教育について、実施しないものと考えていましたが、どうなのでしょう。</p>
事務局	<p>ここには、必要である方向性として記載させていただいています。議会での答弁という視点では把握できていなかったのが正直なところではありますが、今後10年間で必要なものであるという認識に基づき、意識していきたいと考えています。</p>
勝元委員	<p>縦割りで難しい点ではあると思いますが、議会での回答についても審議会での回答についても、どちらも忠岡町としての意見と捉えますので、実施するのかわからないのか、どちらかわからないという思いです。</p>
事務局	<p>「リカレント教育の推進」については、教育委員会との調整ができていない部分もありますので、この場での回答については控えさせていただき、内容については、改めて調整していきたいと考えます。</p>
富田委員	<p>施策に「学校教育環境の充実」が挙げられていて、大変良いことと感じています。施策展開の方向に「学校施設の充実」が出てきますが、施設だけではなくてICTや読書環境という側面も重要と感じています。環境という意味では、施設だけでなく、様々な環境を考慮していただきたいと思います。そして、資料3のキャッチフレーズについては、「小さい」という単語は1つあっても良いが、案2のように2つも3つもいらぬという思い</p>

増田会長	です。案1については、子ども・教育が1つ独立して視点・分野に挙がっていて良いと感じています。
事務局	施設という言葉が ICT などを含められていないと、読み手側にとられてしまう言葉であるならば、それらが含まれるような意味合いの言葉に変更したいと考えます。
増田会長	話にも挙がりましたが、将来都市像（案）の視点・分野のグルーピングについて、子ども・教育が独立しているのが案1、案1・案3は安全・安心が独立しています。わかりやすさなど大事だと思いますし、最後にまた皆さんのご意見をいただきたいと思います。そうしたら、次第の2に進ませていただきます。
	4-2. 施策の大綱（素案）について
増田会長	続きまして、4-2について進めさせていただきたいと思います。
	（事務局 「施策の大綱（素案）について」の説明（資料4））
増田会長	ありがとうございます。基本目標1「子育てがしやすいまち」は「学校教育が充実したまちづくり」と「切れ目のない子育て支援が充実したまちづくり」の2点が大きな柱となっています。これについては、いかがでしょうか。学校教育の充実という話の中では、小・中一貫校の推進ということがしきりに言われていますが、これについて町としてはいかがでしょうか。小中一貫校の考え方が2つあって、敷地として一体化するという話と、教育の仕組みとして一体化するという話とあるように思います。
教育長	本町は、小学校が2校、中学校が1校となっています。従前から教職員の研究など、一貫性という意味では積み重ねてきたものがあります。そういう意味で、より内実を意識した小中一貫という意味で発展していきたいということは考えていますが、物理的な意味での文字通りの小中一貫は難しいと考えています。
富田委員	小中の担当の先生の連携をサポートする体制の整備なども、教育環境の充実として効果的だと考えています。施設の整備は大変なお金がかかるのに対し、ソフト面はそうではないので、そうした文言にさせていただくと良いと思います。
二家本委員	基本目標1に、障がいを持った児童の教育については入ってきませんか。
事務局	障がい児教育については、「学校教育の充実」の中に『ともに学び、ともに育つ教育』の推進」に入ることを想定しています。
三宅委員	将来像と大綱等の関連性については、どのように示されているのでしょうか。もしくは、今後どのように関連性を示していくのでしょうか。考え

事務局	方をお聞かせいただきたいです。
事務局	今現在は関連性を示すことができていませんが、今回いただいた意見も踏まえて、次回の審議会で素案としてお示しすることができたら良いと考えています。
増田会長	例えば、先ほどご回答いただいたように、本町は小学校が2校、中学校が1校とコンパクトに展開する中で、小中一貫教育を小ささを生かしながら展開しますというように、町の特徴を書かれると、忠岡町らしい総合計画になっていくと思います。他にいかがでしょうか、目標2の「健康に暮らせるまち」についてはいかがでしょうか。健康寿命をいかに伸ばしていくかという視点が重要かと思います。
三宅委員	最近では健康に関して、企業との連携などを進める例があるかと思います。こうした点も推進できれば、忠岡町のPRにもなると思いますが、いかがでしょうか。
事務局	健康づくりを推進していることは重要なことだと思いますので、PRも含めて、実施計画などで具体的な記載ができるよう検討していきたいと思っています。
増田会長	基本目標3「生涯活躍できるまち」についてはいかがでしょうか。町内の外国の方が、観光ではなく労働という立場で心地よく住める等のことについては意識していらっしゃいますか。
事務局	仰る通り、多文化共生として本項目の中で展開していくつもりでおります。
増田会長	このほか、生涯学べるというのも住みやすさに影響を与えていると思いますので、もれなく記載していただければと思います。基本目標4「安心して暮らせるまち」については、いかがでしょうか。近年風水害が多く発生しておりますが、かなり教訓として生かしているという理解してよろしいでしょうか。
事務局	本町でも平成30年の台風21号でかなりの被害を受けましたので、その中での課題などを踏まえて、新たに展開していく必要があるという認識のもと記載しています。
増田会長	防災としては、ハザードマップの公開と周知、避難行動など、ソフト面の充実からといったイメージですが、こちらについてはいかがでしょうか。
事務局	こちらについては主にハード、そして同時に必要となる地域での防災については基本目標3の「地域共生」において、対応を考えています。ご指摘いただいたハザードマップについては、こちらの項目での対応を検討しています。

増田会長	簡単には記載できないと思いますが、アフターコロナについてはいかがでしょうか。
事務局	求められる対応というところで、基本目標4でそうした内容についても、対応していく必要があるとは考えています。
増田会長	基本目標5「便利で生活しやすいまち」についてはいかがでしょうか。自治体によっては、買い物難民などの話が挙げられることもあります。
事務局	現状は、そこまでの問題が発生していないと理解しています。
三宅委員	表現の話になると思いますが、「市街地の活性化」という「活性化」はまちがどのような状況になることをイメージされていますでしょうか。言葉が抽象的過ぎて、私自身イメージがつかないでおります。
事務局	もともと事業として行っていたのは、商工業の振興というところで、そういった事業の延長線上で設定させていただきました。なので、町内店舗がにぎやかになり、それがあから人が集う、そういう状況をイメージしています。駅前の空き店舗が埋まるというような捉え方に近いと思います。
小島みゆき委員	「町内移動がしやすいまちづくり」という言葉がありますが、高齢者が増える中で、お買い物などに困っている方もいるとお聞きしています。福祉バスでは不十分という声もお聞きしています。どういった部分が必要と考えていますでしょうか。
事務局	まず、道路の面で言えば、自転車や徒歩で移動しやすいような歩道の整備などのハード面が必要と感じています。バスの面に関しましては、施設利用のための福祉バスとされているため、現状この中には含まれていませんが、将来的には交通環境の充実ということで、バスなどの事業展開もできればと思っています。
小島みゆき委員	将来的にはというお話ですが、現実問題、困っている方もいらっしゃいますので、総合計画ということで1つ1つ丁寧に考えていけたらと思っています。
増田会長	最近では従来のような大人数で使用する交通ではなく個別交通の公共、オンデマンドバスやオンデマンドタクシーが求められていたり、今回のコロナなどでいうと自転車の利用や免許を返したあとの歩行環境の改善などが大事な視点になってくるかもしれません。次に基本目標6「誰もが働きたくなるまち」についていかがでしょうか。
勝元委員	町の評価、重要度と満足度の乖離が広いのがこの分野であったと思います。第6次では重点的な取り組みとして取り上げていくのか、このあたりに対する考え方についてお聞かせください。
事務局	仰る通り、町側の評価と住民の意見に乖離があったことと、付け加える

	<p>と重要度に関してはそれほど高くなく満足度も低かったという特徴的な結果となっていました。今回は総合戦略も踏まえており、産業が重要なことと捉えていますので、しっかりと取り組んでいく必要があると考えています。</p>
<p>勝元委員</p>	<p>産業については、もう少し住民の方の重要度を高めていただくと良いと思っています。忠岡が寂れている部分であり、先ほどの駅前の活性化と併せて推進をしていかないと、他の行政サービスの財源を確保することも難しくなると思います。そこに将来的な不安もあると思いますので、住民の満足度や重要度を高めた位置付けにしていった方が良く考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>現時点でも、重点的な取り組みと捉えて記載している部分はありますが、仕事があって人が集まり、町ができあがる。一番大事な部分は仕事という認識はありますので、できるだけそういった考えが伝わるような書き方をしていきたいと思っています。</p>
<p>増田会長</p>	<p>アフターコロナでは、職住近接型の優位性の話なども出てきますので、そのあたりも少し触れていただけたらと思います。</p>
<p>萬野委員</p>	<p>今回のコロナ禍で商工会は小さいながらも、給付金の支援などをしっかりと行っています。小さいながらもめいっばい取り組んでいることを認識していただきたいと思っています。また、事業者が減っている中で、創業支援などをさせていただきたいと思っていますが、なかなかこの地域で取り組みたいと思う人がいない現状にあります。働きたくない町ということで、働く場が限られているという現状があります。特に生産年齢人口が減っているのが問題だと思っています。そのせいで活性化につながっていないとも思います。大きな市であれば、今回のコロナ禍などで、どこに相談して良いかわからない。しかし、小さい町だから支援が行き届き、相談先もわかりやすい。こうした点がセーフティネットにもなっていくと思います。</p>
<p>増田会長</p>	<p>就労支援よりももう少し前のところ、産業の持続性みたいなのも維持しながら展開していくことが重要と感じます。</p>
<p>和田委員</p>	<p>前回は人口の減少について話しました。人口の減少については、基本目標1の子育て、そしてこの産業という点が大きく関連していると思います。アフターコロナでは商工業や会社のあり方が大きく変わってくると思います。今後のことについては抽象的に記載するのではなく、デジタル化やICT化などの具体的な言葉を記載すべきと考えます。経営基盤の強化や商工業の振興という点は以前から言われています。また、議会でも度々取り上げられますが、町営住宅は空きが結構ありますので、現在暮らしている方には代わりの場所を用意して、その敷地を使ってICT村をつくるな</p>

	<p>ど、有利な条件を付けて貸すなど、でないとなかなか本町では難しいと思います。また、駅前活性化を行っても、あまり商店でお金を落としてもらえないと思います。隣の岸和田市の大きな商店街も、シャッターなどが降りています。なので、何か違うようなものを進めてほしいと思います。</p>
事務局	<p>基本計画については取り組みの大枠を示させていただき、具体的な内容については毎年実施計画で示していきたいと思っています。そのため、記載上こうした抽象的な表現になることをご了承いただきたく思います。</p>
増田会長	<p>それでは、基本目標7「持続可能な行政運営ができていくまち」ですが、これについてはいかがでしょうか。「行政」で良いですが「行財政」の「財」は必要ありませんか。</p>
事務局	<p>財政についても含んでおりますので、修正してお示ししたいと思います。</p>
三宅委員	<p>「これからの時代を見据えた人材育成」とありますが、この内実はどのようなものを想定していますでしょうか。</p>
事務局	<p>少子高齢化・情報化・国際化などの社旗情勢を意識できるような人材育成を行っていきたいという意味を込めております。</p>
増田会長	<p>例えば、社会人経験者の採用を積極化する例や、府では部長級を公募するなど、新卒採用以外の取り組みを進めている例もありますが、そのあたりまでは踏み込むのでしょうか。</p>
事務局	<p>昨年度から社会人経験者の採用枠を設定し、採用もさせていただいてる中で、これまでの新卒採用一本化ではなく、多様な価値観の人材を採用することによる組織の活性化も図っているところです。</p>
増田会長	<p>単純な人材育成ではなく、採用の工夫なども関係してくると思います。</p>
勝元委員	<p>人材育成の対象は、新人・若手を想定されているのでしょうか。質問の意図として、若手の職員が退職されることが多いようで、退職者を対象とした、なぜ役場を辞めるのかというアンケートを開示請求させてもらい、確認してみたところ、組織に対するあきらめ感のようなもの、上司に対する閉塞感のようなものを感じとれました。町の財政が厳しくなるのは見えている中で、策を講じているように見えない。その点を不安に感じているように思います。新人の方は新人の方で悩みを抱えているので、組織の上部の方も対象と考えているのか。忠岡町独自の課題感を、どの程度盛り込んでいただけるかなども、お聞きしたいです。</p>
事務局	<p>昨年度、職員が大勢辞めました。仕事をしていく上で、アドバイスなどができていない部分もあったと思います。今年度から先輩職員が若手職員のフォローアップを行う相談体制をつくっています。人材育成は住民のサービスの向上にもつながりますので、どのような文面にするかは検討して</p>

	<p>いきたいと考えています。</p> <p>4-3. 基本計画（骨子案）及び重点プロジェクトの考え方について</p> <p>それでは、議題3「基本計画（骨子案）及び重点プロジェクトの考え方について」、こちらは考え方なので、ご説明いただけますでしょうか。</p> <p>（事務局 「基本計画（骨子案）及び重点プロジェクトの考え方について」の説明（資料6））</p>
増田会長	<p>ありがとうございます。こちらは中身というより、考え方ということで、こういう内容で重点プロジェクトを設定していくというお話かと思えます。1つの施策だけでなく、複数の視点から重点プロジェクトを設定いただけると良いなと思えます。よろしいでしょうか。それでは、もう一度、資料3に戻りまして、将来都市像（案）についてご意見をいただきたいと思えます。本日の基本構想案などを見ていると、案1を想定しているようにも感じましたが、このあたりはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>必然的に総合戦略が求めている方向性と一致してしまうので、案1寄りの考え方になっているかとも思いますが、一步引いて、忠岡町としてどのような将来都市像が良いかご意見をいただければと思っています。</p>
増田会長	<p>そうしましたら、一言ずつ将来像についてご意見いただければと思いますが、いかがでしょうか。</p>
森委員	<p>子育て、教育に関心があり、今でも朝いろいろ見っていますが、最後には大学生になってます。町に残るかどうかはわかりませんが、中学校教師になりたいと話しており、これをしっかりと個別にフォローしていくことが重要だと思います。</p>
三宅委員	<p>人口に対する捉え方は人それぞれだと思いますが、1つの自治体の子育て施設を新設して、その市に人が集まり、周囲の市から人が減ってしまうというのは、人の奪い合いになってしまうと感じます。流動的な中で、行ってもいいし、来てもらってもいい。そして、いい企業は東京にあるので、いい学校に行ったら東京に就職をしてしまう。言い方は悪いけれど、やんちゃしている人の方が町に残っているので、そちらの方に光を当てる方向性にすべきとも考えています。そこに、小さいという視点を踏まえてどう表現してよいかわかりませんが、つなげていただけたらと思います。</p>
小島みゆき委員	<p>現在記載されている内容が全て実現されたら良いとは思いますが。しかし、これを深めていくためには、まだまだ学んで、意見を出せるようにしていく必要があると感じました。子どもの施策をしながら高齢者が増えていく中で、全部のことを見ていくのは難しいと感じながらも、また学んで</p>

富田委員	<p>次回参加したいと思います。</p> <p>小さいということは財政的に弱い、人材が不十分という弱いところがあり、そうした中であれもこれもは難しいことだと思えます。こうした中で、小さいことで人と人のつながりがあるのが利点だと思えます。また、社会教育やリカレント教育では学んだことをどう還元するかが重要とされています。こうした中で、地域住民が何に取り組んでいけるかという視点が重要だと思えます。7章の行財政でも、行政のことばかりが記載してありますが、地域住民も何かできるのではないかと感じます。また、コミュニティ・スクールについても、地域住民が関わって運営しています。自分たちが住みやすくなるために、住民自らがしっかりと考えていく必要があると思えます。例えば、これは思いつきですけど、キャッチフレーズについても保護者の方にアンケートをするなど、住民の方が考えて、選んで、参加して決定することが重要だと思えます。</p>
萬野委員	<p>10年間のビジョンということで、絵に描いた餅にならないように、現実的に考えていった方が良くと思えます。春までは、総合戦略の方でKPIを見てきましたが、あまり低下している指標はありませんでした。そのため、現状でも住みよい町なのではないかと思えます。こうした中で、日本一小さい町として、住みよいまちづくりを進めていけたらと思えます。住民も協力していけたらと思えます。</p>
正木委員	<p>コロナ禍で人の流れが停滞している中で、忠岡町としては駅の周辺からにぎわいを取り戻していくなどできたらと思えます。小売商連合会についても、メンバーが40人を切りまして細々とやっており、専業でやっているところは少なく、各々兼業でなんとかコロナを乗り切っています。助成もありますが、それぞれの努力を持って立ち直るんだという気持ちでやっていきたいと思えます。</p>
花野委員	<p>大変住みやすい町だと私も思えます。そして、日本一小さい町だからこそ、皆さんと支え合い、防犯の観点から防犯カメラを泉大津よりも先駆けて設置することができましたし、1戸1灯運動の延長線上として紀州街道のライトアップも行いました。防犯におきましてはスタッフの皆さんも高齢になってきましたが、ひたくり防止などの抑止効果がでる結果となっています。見守り活動は高齢化に伴って協力者が減少してきている現状です。町としてはどう考えているのか、協力をしながら見守っていききたいと考えています。今後のコロナ感染と活動への影響について懸念しています。</p>
勝元委員 増田会長	<p>質問をしてもよろしいでしょうか。</p> <p>お願いします。</p>

勝元委員	今後の会議の進め方に質問があります。事務局が提示した資料に対して意見すればよいのか、委員の意見を盛り込んでもらえるのか。細かい要望をどの程度お伝えしてよいのか。予算や各部局との連携なども必要となるかと思っておりますので、お聞きしたいです。
事務局	こちらの審議会でご提示しているものは、庁内の策定委員会等で意見聴取をした上でご提示しています。審議会で示した資料について、委員の皆さまにいただいた意見を反映して、また次回会議で示したいと思っております。
増田会長	議長として、たたき台がなければ議論は進まないと思っています。話の決まり方としては、事務局が提示して、それで決定という進め方はしておりませんので、忌憚のないご意見をお聞きしたいと思っています。それを受けて、町の方でブラッシュアップしていき、案として固めていくというようにしていきたいと思っています。
勝元委員	わかりました。今回の資料に関する意見となりますが、基本目標4～6はまちづくりの部分と産業にまとめて良いのかと思われました。また、議員になって町の方と話すようになって感じているのが、小さいことで、言いたいことが言えないというデメリットもあるようです。そこで、重要度は低いですが、こういう部分は人権の部分で1つの課題であると思っております。
二家本委員	結婚してから忠岡町に住むことになりましたが、狭いから人とのつながりがあるという点もありますが、外から忠岡町に来た人は馴染みづらい点もあるかと思っております。そうした中で、今回SDGsの視点も盛り込まれていますので、誰も取り残さないまちづくりを進めていただきたいと思います。また、重点施策については重点なりの評価をそれなりにしていただきたいと思います。
和田委員	基本目標が7つ上がっていますが、特に人づくり、教育の部分が重要だと思っています。特に躰というものに力を入れていただきたいと思います。躰というものは身を美しくするということであり、問題がなくなっていくと思っています。私は昨日、監査で25ほどの事業を確認しましたが、シルバー人材センターの方々の仕事効率が良いと感じました。シルバー人材センターの方々の年齢は70～80歳がほとんどでした。現在の子どもと、そうした方々の育ち方の違いが顕著のように感じています。学校・地域・家庭が一体となって、子どもの正しい躰をやっていただきたいと思います。
毛綿谷委員	今日は勉強をさせていただきました。小さい町であるからこそ、福祉の面では充実していると感じています。
松阪委員	生涯学習に大変興味があり、楽しみにしています。これから色々と勉強することを、こういう機会を捉えて、皆さんに発信などしていけたらと考

高橋委員	<p>えています。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日初めて参加させていただき、勉強になりました。今後、少しでもお力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
小島ゆかり委員	<p>忠岡町に若い人が入ってほしいと思いますし、活性化してほしいと思います。アンケートを見ると、防災に皆さん不安を感じているようで、ニュースを見ると山形県の最上川についてニュースが放映されていました。忠岡町も大津川があるので、やめとこうかなという方もいるのではと思いました。そこで、防災の対策をしているということを強調してほしいという思いがあります。また、若い人に入ってもらうには、今回資料の新婚の方への支援ですとか、コロナ禍における妊婦さんへの3万円給付ですとか、給食やクーラーの設備がコンパクトなためスピーディに取り入れられるという話などを、盛り込んでいただけたらと思います。</p>
高見委員	<p>先ほど、小島みゆき委員から買い物難民の話がありましたが、社会福祉協議会でそうした取り組みを進めています。色々なことを、社会福祉協議会や自治会でやっております。自治会も、各家庭の独居老人宅を年6回程度訪問して安否確認しています。そのようなことも頭に入れておいてください。好き放題言っても、話は前に進みません。地域の住民も、社会福祉協議会も、自治会も、商工会も、みな一生懸命にやっています。どうもありがとうございます。</p>
増田会長	<p>皆さんの意見をお聞きして私なりに感想を言わせてもらいますと、小さいまちだからこそ具体的にできることのメリット・デメリットを書き込んでほしいというのがまず1つですね。また、住民が住民にサービスをするという時代が来ていて、住民相互の支え合いへの住民参画や、町内企業の参画のような部分が弱いかもしれません。市民が市民にサービスをするとか、市民が市民を支えるという視点を少し強化しなければいけないのかと思います。もう1点はそれを実施しようとするれば、公平な参画機会というもの重要で、敷居が高いとか、狭いからこそ顔が立つという話題がありましたが、そのあたりについても触れる必要があるのかなと思いました。また、キャッチコピーの決め方ですが、パブリックコメントで決めるなど、内容的なものについてはご納得いただきながら進めておりますので、住民参画で決めることができるかといった点を事務局で検討してもらう必要があるかと思います。以上が総括としてよろしいでしょうか。</p> <p>6. 開会</p>